

平成 27 年度第 1 回庄原市総合教育会議 会議録

1 日 時 平成 27 年 5 月 18 日（月） 午後 4 時 00 分開会

2 場 所 庄原市市役所 5 階 第 2 委員会室

2 出席者

【構成員】

木山耕三市長 牧原明人教育長 末信丈夫教育委員
谷壯一郎教育委員 寺西玉実教育委員 中山智恵子教育委員

【事務局】

兼森博夫企画課長 山田明彦教育総務課長
中重秋登教育指導課長 赤堀幹義生涯学習課長
ほか担当職員（3名）

【議事進行】

木山耕三市長

3 欠席者 なし

4 傍聴人 3名

5 開 会

6 説明事項

庄原市総合教育会議運営要領について

事務局は、配布資料に基づき、庄原市総合教育会議の開催等について説明した。

7 協議事項

大綱の策定について

事務局は配布資料に基づき、大綱の取り扱いについて説明し、今年度策定する庄原市教育基本計画の基本事項部分を大綱に位置づけることについて承認を求めたところ、全会一致で承認可決された。

(牧原教育長)

今年度、教育委員会で教育振興基本計画を策定することもあり、我々の意見が計画に反映できることも含め、この案に賛成である。

長期総合計画のアンケートやこれから実施する教育振興基本計画のアンケートなどを踏まえて、向こう5年間、我々がどのような取り組みを行えばいいか提案することで、総合教育会議の場で協議していけば、市と教育委員会が同じ方向を向いて施策展開できると思っている。

8 その他

(1) 庄原市内の小・中学校再編の状況について

(2) 庄原市立小・中学校の児童生徒数の推移について

(3) 庄原市内小・中学校いじめ・不登校の状況について

事務局は配布資料に基づき、小・中学校の状況等について説明した。

(中山教育委員)

発達障害が疑われる児童・生徒が、平成22年度から平成23年度にかけて増えているが、この原因は。

(中重教育指導課長)

詳細は、再度報告するが、平成23年度から特別支援学級以外の通常学級の子どもについても報告を求めているので、数値が上がったと想定している。

(木山市長)

平成31年までの生徒数の見込みが出ているが、生徒が減っていき、複式学級が増える中で、今後の学校のあり方を考えていかなければならない数字かと思う。

(谷教育委員)

生徒数については、文部科学省の指針に従えば、庄原市では、東城小学校・東城中学校・庄原小学校・庄原中学校の4校の学校教育体制ということになる。それを是とするか。この地域がどのように対処した方が良いかは、今後、検討の余地があると考えます。

(牧原教育長)

文部科学省の指針では、クラス替えができない学年は統廃合を検討したらどうかというものであるが、西日本一の広大な面積を持つ庄原市において、学校の地域の配置がどうなるかは、避けて通れない問題であると考えている。教育委員会議でも課題意識を持って議論はしているが、まだ定まっていない。

一方、学校に対しても、複式学級の授業がきちんとできているか。学力・社会性の問題はどうかといったことも、授業参加や校長へのヒアリングを重ねる等、授業改善の取り組みを続けている。保護者や地域の思いもあるので、色々聞きながら、学校の統廃合については、避けて通れない問題という認識の中で、これからの課題になると考えている。

9 閉 会

17時00分終了